



中央聖書神学校 Central Bible College CBC 後援会だより

中央聖書神学校後援会 通常総会開催

会員に2014年度事業を報告し承認を得るため、総会資料を添えて通常総会のご案内を差し上げたところ、90名の方に出席あるいは委任状提出をいただき、総会を開催することができました。審議を尽くして終了することができました。委任状を提出いただきました皆様ありがとうございました。御礼申し上げます。

ご案内から総会開催までの時間の余裕がなかったためか、出欠の回答が得られなかった方々が多くおられました。時間の余裕がなかったことを、お詫びします。



出席者 (写真：佐藤監事)

り承認された。

審議の経過と概況は以下の通り。

定刻に至り、松田正副会長の司会で開会の祈りと賛美が行われた。中央聖書神学校後援会規約第五章総会第13条2項、3項、5項の定めに基づき、出席者を書記・酒井に報告させ、総会が成立する旨の確認をしたのち総会の開会を宣した。

続いて、中央聖書神学校後援会規約第五章総会第13条6項に基づき議長に峰田将会長が就く旨を告げた。

峰田会長が議長に就任し書記に酒井源次を指名。次に議事録署名人として野村行雄、酒井勝の2名を指名したいと議場に諮ったところ全員異議なく承認された。

議長は第1号議案・第2号議案を酒井書記に説明させ質問や意見を求めたのち承認の賛否を議場に諮ったところ満場異議なく原案通り承認された。

続いて第3号議案を佐々木会計に詳細に説明させ、続いて佐藤清監事が監査報告を行なった。質問や意見を求めたのち承認の賛否を議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り承認された。

2015年2月28日午後2時30分～午後3時35分、中央聖書神学校チャペルにて後援会総会が持たれた出席者は会員総数205名のうち出席25名、表決委任者65名合計90名であった。審議事項は総会の承認を受けるべき5事項であり、すべての事項が原案通



総会（写真：富山委員）

せ、質問・意見を求めた。議場から、活動実情を精査し実態に即した経費を遠慮なく組み込んだ予算編成を望む、委員並びに役員の実費等の実費支給をしてもよいのではないかと、その意見をいただき、次年度の検討事項とすることです承された。このうち、議場に承認の賛否を諮ったところ、満場異議なく原案通り承認された。

議長は、2015年度活動計画並びに収支予算案の承認に謝意を述べたのち、その他の議事として、委員として富山均兄（十条キリスト教会）を選任したい旨を議場に告げた。満場の拍手をもって承認されたので富山兄が起立し挨拶をして就任の承諾とした。午後3時35分、議長は、本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ閉会を宣した。

◎ 新任委員挨拶 ◎

委員 富山均（十条キリスト教会）



1992年から4年間、神学校の関東分校で学び、先生方や神学生と

接し「この神学校のために何かしたい」と思ひ続け、今、その願いが叶いまし

た。委員として献身の思いで、ご奉仕させて頂きます。

「プリギエーラ」（祈り）
によるライアー二重奏

総会に先立って、40分ほどのライアー（豎琴）演奏会が持たれた。総会出席者・陪席者と神学生も参加しその穏やかな演奏を楽しませて頂きました。

演奏されたお二人はドイツ、スウェーデンのライアー奏者に二重奏の指導を受け各地でコンサートを開いています。



上・右・皇 恭子（すめらぎ きょうこ）
さん（アルト） 青山学院大学卒業。社会福祉法人なごみ会非常勤講師。

上・左・高木 芙二子（たかぎ ふじこ）
さん（ソプラノ） 武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。イタリアにて近代ピアノ曲の研鑽を積む。



茶話会



総会後に教室に会場を移して茶話会が持たれました。

北野校長の挨拶では、今年度の卒業証書授与で640号になる事、新年度の入学予定者数が本科、通信科、教会献身者コース合わせて17名になることを挙げ重要な中央聖書神学校の働きへの支援が訴えられました。



前会長の多田先生は、駒込の地に教団本部があり聖書神学校がある事は神様の偉大な摂理によると感謝が語られた。

安田先生からは伝道者・牧師の養成にかかわる神学校本体と同窓会、後援会の三者が力を合わせて働くことが望ましいと考えていると語られました。

菊山先生は、昨年は期待をしているとの言葉をいただいたがこのたびは信徒の方を同伴して出席頂きご支援を形にして表していただくとともに後援会の活動が充実してきていると評価いただきました。

石原先生は第3期生としての学校生活をお語り頂くとともに神召、名古屋、中央聖書各教会での御用についての感謝が述べられ、牧師を訓練する神学校の働きの重要性について語られました。

高知からご夫人と共に総会に参加いただいた松本恭介兄（中村福音キリスト教会）は、1985年5月2日熱海シャトーテル赤根崎で行われた全国聖会中に行われた後援会総会で石原総務局長（当時）がCBCの働きの重要性を語られたことが印象的であった、と思いを語ってくださいました。なお、

松本兄は2015年4月、通信科に入學されました。



茶話会の最後に齋藤貞治委員の感謝祈禱で総会にかかわるすべてのプログラムを終了した。

2015年度計画の執行にご支援をお願いします

■神学校後援会は1977年5月、会長内村誠一師、副会長佐藤孝夫師、書記久保田潔師、会計渡辺喜平師、監事河村貞敏兄、同柴田輝男兄を選出し、教職を中心とした運営で発足し、教会、牧師・教職、信徒を会員として37年有余の永年に亘って大きな貢献をしてくれました。

■2013年の夏に信徒主体の運営に引き継がれることとなり、信徒の有志が集められました。教団とのかわりや神学校の運営等に関しては不案内な者たちですが、再発足準備会がもたら自由闊達に前向きな議論が頻繁に行われ活動計画が練り上げられました。

初年度の活動は先の総会資料で報

告したとおりです。そこで、信徒の皆様は2015年度の重点活動事項を報告しご協力ご参加を求めるものです。

2015年重点活動事項

① 各教区に支部を立ち上げていきたくと考えています。

支部のメンバーが会員の増強や支部の交流など自主的・積極的におこなってその地域の活性化ができれば、と考えています。そのためにも支部で中心メンバーになっていただける人を求めています。

② 会員の増強です。法人会員と個人会員の確保となりますが、1,000円以上5,000円未満でも入会できる賛助会員の制度を設定しましたので、幅広い参加を望んでいます。

神学校への献金目標150万円、奨学金50万円合計200万円です。

③ タラントバンクで、信徒のタラントを登録し、活用をはかる仕組み作りを行っていきたくと考えています。

後援会活動リポート

① 4月19日、小岩栄光教会の第二礼拝および第三礼拝においてアピールす

る機会を頂きました。会長・書記・会計の3名の役員が出席し、礼拝後の貴重な時間に後援会の働きを説明し、入会を募りました。感謝なことに続々と入会申し込みが届いております。

② 4月29日（水・祝）、豊橋市で開かれた東海聖会（渡辺岳見教区長）には峰田会長が出席し第二聖会の中で親しく後援会の説明をする時間を頂きました。聖会は大変すばらしい恵みに包まれ10名を超える献身者が起こされました。同時に後援会に対しても熱い期待の声が寄せられ感謝しました。入会される方々がたくさん起こされることを願っております。

③ 4月29日（水・祝）関東北東教区聖会（井桁久志教区長）の第一聖会で400名近い出席者に後援会入会の勧めチラシと振り込み用紙を配布し松田副会長から口頭でもアピールしました。第二聖会（ユース）では多数の献身決心者が前に進み出しました。後援会の働きを盛んにしなくては、と強く決意させられた時でした。

聖会でのアピールに配布したチラシ「後援会入会のお願い」の核心は「全ての人が伝道の第一線に立つことほできないかもしれませんが、召された尊

い人材のために祈り、支援することは、すべての信徒に与えられた大切な使命です」との訴えです。
みなさまの入会をお待ちしています。



【盛夏の特別企画】

野外BBQと奉仕の集い

日時：8月22日（土）

9時～15時

場所：中央聖書神学校（教団本部）

催事：9時からお昼までは除草作業や池さらい。昼食はバーベキュー、その後はゲームなどのお楽しみ。

ご家族でお越しく下さい。

2015年1月～4月の会員状況

法人会員0、教会会員46教会46万円、個人会員62人（67口）33万5千円、合計108会員で79万5千円

《事務局から》

3月末で奥田先生が転出され、4月から富山千鶴姉（十条キリスト教会）が後援会事務全般を執り行っています。

編集 後記

第3号をお届けします。

教団機関誌「月刊アッセンブリー6月号」

に後援会の報告を掲載頂きました。後援会の働きをご理解いただくとともに、祈りとご参加をお願いします。

